地域公共交通活性化・再生総合事業（調査事業）　：　山口県山陽小野田市

概　　要

山陽小野田市は、平成17年に小野田市と厚狭郡山陽町が合併し、それに伴い人口分野や高齢化率の異なる地域を抱えている。小野田地域では、バス事業者3社に対する乗合バス運行に対して維持費等補助金を交付することで生活交通の確保を行っている。また、山陽地区では、同様の維持費等補助金交付のほか、廃止代替バス（ねたろう号・いとね号）を運行している。補助金は、バス利用者の減少や燃料価格の上昇もあり、行政にとって大きな負担となっている。一方で、高齢化の進展や合併に伴う生活圏の広域化により市民の生活交通ニーズは多様化し、こうしたニーズに対応した効率的、効果的な生活交通サービスの構築が急務となっており、こうした課題を解決するために調査検討を実施する。

○地域公共交通の概要

・船木鉄道㈱：主に市街地路線←維持費等補助金交付
・サンデン交通㈱：宇部市交通局：主に広域路線←維持費等補助金交付
・宇部市交通局：主に広域路線←維持費等補助金交付

○地域公共交通の課題

・公共交通空白地帯の縮小（人口規模が少なく、高齢化が進んでいる。）
・小野田地域：交通体系の再構築による路線重複区間の改善が必要
・山陽地域：ねたろう号、いとね号の効果的・効率的運行の検討

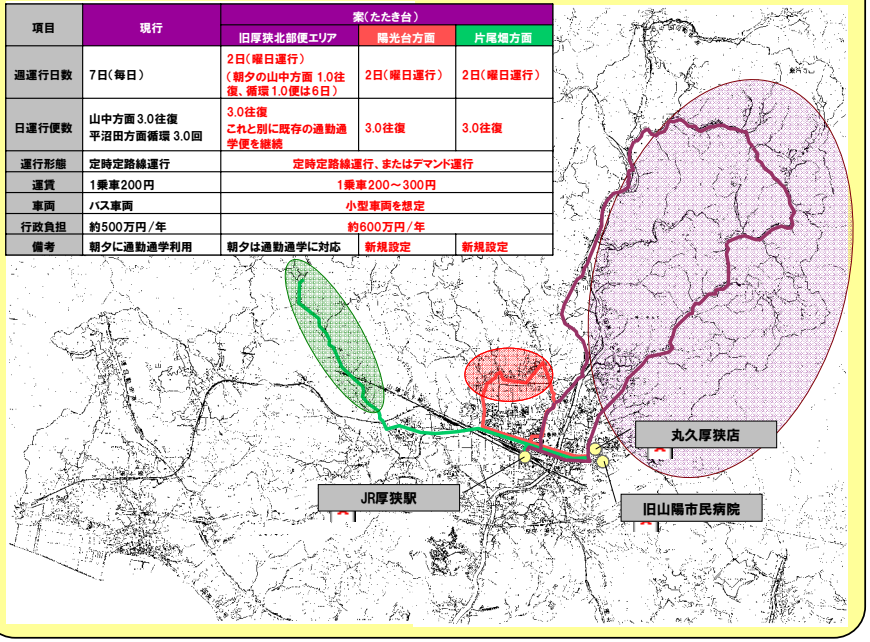
○調査事業の主な内容

・市街地移動サービス検討調査（利用実態、ヒアリング）
・地域内移動サービス検討調査（利用実態、ヒアリング、意見交換会）
・広域移動サービス検討調査（利用実態、ヒアリング）

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想　（予定）

・小野田地区：高畑、高泊地区のバス運行の再編検討
・山陽地区：厚狭北部（周辺地域含む）のバス運行再編・導入の検討
・廃止代替バス「ねたろう号」の交通空白地域解消に向けた再編運行の検討

《総合連携計画の構想例》

厚狭北部方面　試験運行案（たたき台）

項目	現行	案（たたき台）		
		旧厚狭北部便エリア	陽光台方面	片尾畑方面
週運行日数	7日（毎日）	2日（曜日運行） （朝夕の山中方面 1.0往復、循環 1.0便は6日）	2日（曜日運行）	2日（曜日運行）
日運行便数	山中方面3.0往復 平沼田方面循環 3.0回	3.0往復 これと別に既存の通勤通学便を継続	3.0往復	3.0往復
運行形態	定時定路線運行	定時定路線運行、またはデマンド運行		
運賃	1乗車200円	1乗車200～300円		
車両	バス車両	小型車両を想定		
行政負担	約500万円／年	約600万円／年		
備考	朝夕に通勤通学利用	朝夕は通勤通学に対応	新規設定	新規設定